



**LG**

Life's Good

日本語

**LG G** *Watch*

**クイック スタート ガイド**



MBM64636308 (1.0) G

Printed in Korea

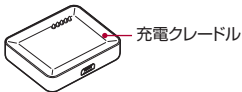


# 目次

|                           |    |
|---------------------------|----|
| 概要 .....                  | 2  |
| G Watchを充電する .....        | 3  |
| 充電クレードルに関するヒント .....      | 4  |
| G Watchのオン／オフを切り替える ..... | 6  |
| ペアリングと接続 .....            | 7  |
| 安全に関する情報 .....            | 9  |
| 保証書 .....                 | 26 |

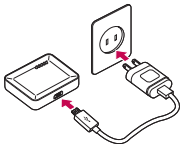
詳細については、[www.lg.com](http://www.lg.com)にアクセスしてください。

# 概要

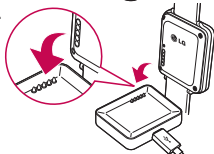


# G Watchを充電する

1.



2.



# 充電クレードルに関するヒント

## 充電クレードルの貼り付け方

1. 充電クレードルの背面に付いているフィルムを剥がします。
2. きれいで乾いた平らな面に充電クレードルを貼り付けます。押し付けなくてもすぐに接着されます。

## 充電クレードルの取り外し方

四隅のいずれか1か所をゆっくりと慎重に引き上げます。急いで剥がさないでください。最初に四隅の1か所から剥がすのではなく、一度に充電クレードル全体を剥がそうとすると、充電クレードルや設置面が破損する可能性があります。



## ！ 注意

- ・ 充電クレードルを剥がすときは捻らないでください。充電パッドが損傷する可能性があります。
- ・ クレードルをしっかりと固定するために、時々クレードルの背面を拭いてきれいにしてください。溶剤、アルコール、洗剤は使わないでください。
- ・ 充電クレードルをバッグに入れて持ち運ぶと、バッグ内の物が充電クレードルの粘着部に付着して損傷するおそれがあります。

このガイドの内容の一部は、製品のソフトウェアやサービスプロバイダーによってはお使いの製品と一致しない場合があります。また、本ガイドのすべての情報は、通知なしで変更されることがあります。

# G Watchのオン／オフを切り替える

充電クレードルをコンセントに接続して、その上にG Watchを置きます。デバイスの電源が自動でオンになります。

オフにするには、 [設定]を開いて  [電源OFF]を選択します。

## リセット

G Watchが正しく動作しない場合は、クリップの先端でリセットボタンを押してリセットしてください。

8秒間押し続けるとリセットします。



# ペアリングと接続

G Watchは、Android 4.3以降がインストールされているどのスマートフォンまたはタブレットでもペアリングできます。

1. Google PlayからAndroid Wearアプリをダウンロードしてスマートフォンにインストールします。
2. Android Wearアプリをタッチして開きます。
3. スマートフォンまたはタブレットのBluetoothがオンになっていることを確認してください。
4. G Watchモデル名をタッチして、[Pair(ペアリング)]をタッチします。

## 注意

初めてG Watchとペアリングする場合は、初回のペアリングプロセスのため5～10分ほどかかります。時間はネットワークの状態により異なります。

ご利用を開始するには、  
Google Playストアから  
Android Wearアプリを  
ダウンロードしてください。

Google



# 安全に関する情報

製品の電源をオンにする前に、ここに記載された安全に関する基本情報を確認してください。

## 安全と取扱いに関する一般的な注意事項

製品の使用中は、次の一般的なガイドラインを守ってください。

### 環境

- 安全な動作温度。製品はできるだけ0°C~40°C(または32°F~104°F)の気温で使用および保管してください。極めて低温または高温の環境に製品をさらすと、損傷、誤動作、または爆発することがあります。
- 運転中。車の運転中は、運転操作に対して第一の責任を負います。運転中に電話または他の用途のモバイルデバイスやアクセサリを使用すると、注意が散漫になることがあります。

常に運転に気を配ってください。

- 爆発物の周囲。製品の火花が火災や爆発の原因になるような場所で使用しないでください。
- 航空機内。電子機器の使用に関するすべてのルールと指示を守ってください。一般的に、離着陸時の電子機器の使用は禁止されています。空港のセキュリティ装置には、主にX線装置(コンベヤベルトに乗せられた荷物用)、磁気センサー(セキュリティゲートを通過する人間用)、および磁気ワンド(人間や小物用の手で持つ装置)の3つのタイプがあります。製品を空港のX線装置に通しても問題ありません。ただし、製品を磁気センサーに通したり、磁気ワンドに近づけることはお避けください。
- 特定のエリアの特別な規制に常に従ってください。使用が禁止されているエリアまたは干渉や危険の原因になる可能性があるときにはデバイスの電源を切ってください。
- リストバンドを金属製のものに取り替えると、Bluetoothの

接続に問題が生じる可能性があります

## 安全にお使いいただくために

警告:充電クレードルには、ペースメーカー、クレジットカード、時計、および他の磁気の影響を受けやすい機器と干渉する可能性がある強力な磁石が内蔵されています。

製品の障害および火災、感電、爆発、またはその他の危険を防ぐために、次の一般的な注意事項を守ってください。

- LGによって認定されたケーブル、充電器、および他のアクセサリのみを使用してください。
- 製品を落としたり、何かにぶつかけたり、揺らしたりしないでください。
- 曲げる、ねじる、熱する、重いものを上に載せるなど、電源コードの破損の原因を避けてください。
- この製品には、デスクトップまたはノートブックコンピュータ

を充電器に接続するためのUSBケーブルが付属しています。製品をコンピュータに接続する前にコンピュータを適切にアースしてください。デスクトップまたはノートブックコンピュータの電源コードには、機器アース導体およびアースプラグが付いています。このプラグは、地域の規則および法令に従って適切に取り付けおよびアースされたコンセントに差し込む必要があります。

- 製品を修理、改造、または再製造しないでください。製品には、充電式バッテリーが内蔵されています。交換はLGまたは認定LG修理センターのみが行う必要があります。
- 製品を開ける、分解する、砕く、曲げる、変形させる、穴をあける、細断するなどの行為を行わないでください。
- 製品に異物を入れないでください。
- 製品を電子レンジに入れないでください。
- 製品を火災、爆発またはその他の危険にさらさないでください。

- ・ 柔らかい湿った布で清掃してください。強い化学薬品（アルコール、ベンジン、シンナーなど）や洗剤を使用しないでください。
- ・ 水やその他の液体に浸したり、さらしたりしないでください。
- ・ 製品やバッテリーは地域の規則に従って家庭ごみとは別に処分してください。
- ・ 多くの電子機器と同じように、正常に動作していても熱が発生します。十分に通気されていない状態で極めて長い間直接皮膚に触れていると、不快感を感じたり、軽いやけどが生じることがあります。したがって、操作中または操作直後に製品を取り扱うときは十分に注意してください。
- ・ 製品の使用に問題がある場合は、使用を中止し、正規のLG電子カスタマサービスセンターにお問い合わせください。

## バッテリーに関する警告

- ・ バッテリー自体を取り外したり交換したりしないでください。

LG認定のサービスプロバイダのみが交換を行い、IEEE 1725標準に準拠したバッテリーと交換する必要があります。

- バッテリーの交換が必要な場合は、最寄りの正規のLG Electronicsサービス拠点または販売店にお持ちいただき、ご相談ください。
- IEEE 1725に準拠したCTIAバッテリーシステム認証要件を満たす充電器のみを使用してください。不適切なバッテリーを使用すると、火災、爆発、漏洩またはその他の危険が発生する場合があります。
- 製品に付属しているアダプタが電源コンセントに合わない国または地域でバッテリー充電器を使用する場合は、適切なアダプタを使用してください。
- 充電器とアダプタは屋内専用です。
- 動物の歯または爪など尖ったものがバッテリーに接触しないようにしてください。
- バッテリー充電器またはアダプタを直射日光に当てたり、浴室

など湿度の高い場所で使用しないでください。

- ・ 感電や火災を避けるために、雷を伴う天候時には電源コードと充電器を外してください。
- ・ バッテリーを開ける、分解する、砕く、曲げる、変形させる、穴をあける、細断するなどの行為を行わないでください。
- ・ バッテリーを改造または再製造する、異物を挿入する、水や他の液体に浸すまたはさらす、火災、爆発などにさらすなどの行為を行わないでください。そのような状況では火災または爆発の危険が発生する場合があります。
- ・ 特に硬い面に製品を落としたり、製品やバッテリーを液体にさらしたりしないでください。製品を液体にさらしたり、尖ったものと接触したりした場合は、サービスセンターで検査を受けてください。
- ・ 少なくとも1つのバッテリー認証方法(ハードウェア、ソフトウェア、機械的、ホログラムなど)が導入されています。
- ・ バッテリーの使用方法が正しくないと、火災、爆発またはその他

の危険が発生する場合があります。

- ・ 子供がバッテリーを充電したり大人が見ていないところでアダプタを使用したりしないようにしてください。
- ・ 製品が完全に充電されたら、充電器の不要な電力消費を防ぐため、充電器を壁コンセントから抜くようにしてください。
- ・ 高温にさらさないでください。(140°F/60°C)
- ・ バッテリー端子に金属を触れさせないでください。バッテリー端子がショートします。
- ・ 燃やしたり、火にあてたりしないでください。

## 防水性に関するご注意

本製品の防水・防塵性能は、防水防塵保護等級IP67\*を遵守しています。

\* IP67等級は、製品を室温の水道水の入った深さ最大1メートルの水槽に30分間浸漬しても、製品が機能を維持できる

ことを意味します。

塵や湿気の多い環境に製品をさらさないでください。次のような環境で製品を使用しないでください。



水以外の液体薬品(石鹼など)に製品を浸さないでください。



海水などの塩水に製品を浸さないでください。



温泉に製品を浸さないでください。



製品を身に付けたまま泳がないでください。



製品を水中で使用しないでください。



製品を砂(砂浜など)や泥の上に直接置かないでください。

- 一度濡れてしまうと、本体の隙間に水分が残ることがあります。製品をよく振って水を切ってください。
- 水を切ったあとでも、内部の部品はまだ濡れている可能性があります。そのまま使用することはできますが、濡らしてはいけない物の近くには置かないでください。衣類、バッグ、バッグの中身が濡れないようご注意ください。
- マイクに水が残っていることが原因で音声認証が正しく動作しない場合は、水を切ってください。
- 本製品は高水圧に対する耐性は備えていないため、高圧の水がかかる可能性のある場所(蛇口またはシャワーヘッドの近くなど)では使用しないでください。また、長時間水中に沈めないでください。
- 本製品は衝撃への耐性がありません。落としたり衝撃を与えたりしないでください。本体が損傷または変形するおそれがあります。

あり、その結果浸水を引き起こす可能性があります。

## ペースメーカーや他の医療機器

- ・ ペースメーカーを使用している場合は次の点に注意してください。
- ・ 製品の電源がオンになっているときは、製品をペースメーカーから常に6インチ(または15cm)以上離してください。
- ・ 製品を胸のポケットに入れて持ち運ばないでください。
- ・ RF干渉の可能性を最小限に抑えるためにペースメーカーと反対の手首を使用してください。
- ・ 干渉が発生した兆候がある場合は、直ちに製品の電源をオフにしてください。

他の個人用医療機器を使用している場合は、外部のRFエネルギーから適切に遮蔽されているかどうかを医師または機器の製造元に問い合わせてください。

## 高周波(RF)エネルギーへの暴露

1996年8月、米国FCC(Federal Communications Commission)はReport and Order FCC 96-326の制定において、FCC規制対象トランスミッタによる高周波(RF)電磁エネルギーの人体への影響に関する更新された安全基準を採択しました。

この製品の設計は、FCCガイドラインおよびこれらの国際標準に準拠しています。

このモデルは、<http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/>でFCC ID ZNFW100を検索した後に、「Display Grant」の下に記載されています。

## 米国/カナダの法規適合宣言

この機器は、FCC規則パート15に従うクラスBのデジタル機器の制限に準拠していることがテストにより確認されています。

これらの制限は、住居での使用において有害な電波干渉から適切に保護できるように設計されています。この機器は、高周波エネルギーを生成、使用、および放射し、指示に従って取り付けおよび使用しない場合、無線通信と有害な干渉を引き起こす可能性があります。また、設置方法によっては干渉が発生しないことを保証することはできません。この機器が有害な干渉を引き起こすかテレビの受信に影響する場合は、機器の電源のオンとオフを切り替えて確認します。さらに次のいずれかの手段で干渉を解消できる可能性があります。

- 受信アンテナの向きと場所を変更します。
- 機器と受信機との距離を大きくします。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続します。
- 販売店または経験のあるラジオ/テレビの技術者に問い合わせます。

**パート 15.21 の規約:** 製造元によって明示的に許可を受けず

に機器を変更または改造した場合、ユーザーの機器を操作する権限が無効になる場合があります。

**パート15.19の規約(米国)およびRSS一般要件(カナダ):**この機器は、FCC規則パート15およびカナダ産業省ライセンス免除RSS標準に準拠しています。この機器の動作は、次の2つの条件を満たします。

- 1) 有害な電波干渉を引き起こしません。
- 2) 不適切な動作の原因となる可能性のある電波干渉を含む、あらゆる電波干渉の受信に対応します。

## **EUの法規適合宣言**

LG Electronicsは、LG-W100製品がDirective 1999/5/ECの基本要件およびその他の関連条項に準拠していることをここに宣言します。法規適合情報については、<http://www.lg.com/global/declaration>を参照してください。

# C€0168



## 古い製品の処分方法

1. すべての電気および電子機器は、政府または自治体からの指定回収施設で一般廃棄物とは別に処理する必要があります。
2. 古い製品を適切に処分することで、環境や人体に悪影響を及ぼす可能性を排除できます。
3. 古い製品の処分方法の詳細については、地域の関係機関、廃棄物処理場、または製品を購入した店舗にお問い合わせください。



## 廃棄バッテリーの処分方法

1. バッテリーに水銀0.0005%以上、カドミウム0.002%以上、鉛0.004%以上が含まれている場合は、このマークにそれぞれ水銀(Hg)、カドミウム(Cd)、鉛(Pb)の化学記号が併記されることがあります。
2. すべてのバッテリーは、政府または自治体からの指定回収施設で一般廃棄物とは別に処理する必要があります。
3. 古いバッテリーも適切に処分することで、環境や人体に悪影響を及ぼす可能性を排除できます。
4. 古いバッテリーの処分方法の詳細については、地域の関係機関、廃棄物処理場、または製品を購入した店舗にお問い合わせください。

## 規則情報

改造された製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク」が本製品の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本製品で以下の操作を行うとご確認いただけます。

[設定] > [端末情報] > [規制情報]

本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明]などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用しないようにお願いいたします。



## 持込修理

1. 本書は、以下の無料修理規定に基づき無料修理を行うことをお約束するものです。
2. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
3. 保証対象部分は本体です。

## 無料修理規定

1. 安全と保証、オンラインヘルプなどの注意書きに基づき正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。当社の都合により、当社の指定機種と交換することにより修理に代えさせていただく場合があります。この場合の保証期間は延長されません。  
修理の際には、製品とともに本書を当社指定の故障受付窓口までご持参ご提示ください。  
尚、当社指定以外の部品を用いた改造による故障及び損傷につきましては、保証対象外となります。

2. 次の場合には保証期間内でも有料となります。

- (1)本書のご提示がない場合。
- (2)本書にお買上げの年月日、販売店名の記入がない場合、  
または字句を書き換えられた場合。
- (3)使用上の誤りによる故障及び損傷。
- (4)故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
- (5)お買上げ後の落下、水の浸入及び圧迫などによる故障及び  
損傷または落下、水没、水濡れなどの痕跡がある場合。
- (6)火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変及び公害、塩  
害、異常電圧など不慮の事故による故障及び損傷。
- (7)過酷な条件のもとで使用されて生じた故障及び損傷。(著  
しくゴミ、ホコリなどが付着している場合も同様とします)
- (8)当社指定以外の電池パック・充電器等をお使いになり故  
障した場合。
- (9)バッテリー(内蔵型・電池パック型)その他消耗部品の交換。

3. 本製品が不当に修理や分解/改造された場合や本体貼付ラベルを改変及び取り外した製品は修理(有料修理を含む)をお引受けできない場合があります。
4. 本製品内部に水分の付着などによる腐食が認められた場合や破損が著しい場合は修理不能(有料修理を含む)となる場合があります。
5. 本製品を指定外の機器と接続した場合、万一発生する事故については責任を負いかねます。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
7. 修理により交換した交換元部品の所有権は有料修理、無料修理を問わず、製造元メーカーに帰属します。
8. 本書は、日本国内においてのみ有効です。  
(This warranty is valid only in Japan.)
9. 修理内容につきましては別途書面によりご説明いたします。

- ※ 本書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。  
従って本書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理については当社故障受付窓口へお問い合わせください。
- ※ 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。尚、補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は生産打ち切り後目安として4年です。ただし、修理部品の不足等により、期間内であっても有料修理をお受けできない場合がございます。

お問い合わせ先番号:0120-011-167  
受付時間:平日 午前9:00～午後 6:00  
(土日祝日, 年末年始および所定の休日を除く)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....